

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 12 日現在

機関番号：23503  
 研究種目：基盤研究(C)  
 研究期間：2009～2011  
 課題番号：21520269  
 研究課題名（和文） 書物史の要素から解明する17世紀後半のイギリス書物と社会の関係についての研究  
 研究課題名（英文） A Study of English Books and Society in the Late Seventeenth Century  
 研究代表者 高野 美千代 (TAKANO MICHIO)  
 山梨県立大学・国際政策学部・准教授  
 研究者番号：10289811

### 研究成果の概要（和文）：

本研究では、書物史の観点から17世紀英文学にアプローチする研究方法を取った。日本国内では今後さらに踏み込まれるべき領域であるため、先駆的な研究となることを意図して海外の研究者の協力を得ながら17世紀イギリス書物と社会の関係について考察を進めることができた。具体的には17世紀後半のイギリスにおける出版事情を研究するためにロンドン書籍商の出版物を分析し、さらには学術書・歴史書等の出版を促進することとなった予約出版制度を多角的に考察した。そのほか、パラテキストとしての挿絵の効果について、17世紀に出版された好古学書を中心に検証した。また、17世紀英国の書物の受容に関して調査を進めるため、ケンブリッジ大学ピープスライブラリーおよびダラム大学カズンライブラリーにおける現地調査を行ない、新たな研究の可能性を確信するに至った。

### 研究成果の概要（英文）：

In the course of this research project, I mainly concentrated on analyzing the publications of major London booksellers and the system of subscription publication, which developed in the seventeenth century, as well as the reception of seventeenth-century books in their contemporary society. With the assistance of the researchers in the UK, the research went successfully with fruitful results. The research visits to the Pepys Library at Cambridge and the Cosin Library at Durham in particular inspired me with new prospects for future research.

### 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
2011年度	1,600,000	480,000	2,080,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：英文学

科研費の分科・細目：英米・英語圏文学

キーワード：書物史、ブックリスト、17世紀英文学、書籍商、予約出版、Sir William Dugdale、

### 1. 研究開始当初の背景

日本国内では浸透していないが、現在の17世紀英文学研究において書物史からのアプローチは主流になりつつある。本課題に取り組む時点で、私はロンドンの書籍商の存在が王政復古期の文献を研究する上で大変重要であったことを認識し、主要書籍商 Richard Chiswell (リチャード・チズウェル)のブックリストが反映する社会と書物の関連についての研究を行っていた。その際には、書籍巻末に印刷／挿入された百種以上のブックリストの中に掲載された数百点に及ぶ書籍を調査対象として、ブックリストから読み取れる出版物の傾向から書籍商の商業的戦略および社会的スタンスの分析を試みた。

数多くの例を手にする中、ブックリストにはいくつかの類型があり、ターゲットとされる購読者層が想定できることが明らかになった。また、出版事情を考察する過程において17世紀イギリスで定着していった予約出版(subscription publication)と購読者(／出資者)の問題にも着目し、ブックリストと同様にパラテキストの一部と言えるサブスクライバーズリストを鍵として検討してきた。

### 2. 研究の目的

事前研究を進展させるため

(1) チズウェルと同時期のロンドン書籍商のブックリストの比較研究

(2) 予約出版についての研究のさらなる掘り下げ

(3) 書物の受容と発展について考察  
以上を本課題の主要な目的として掲げた。

### 3. 研究の方法

(1) ブックリストの研究：

すでに入手済みのチズウェルのブックリストについての考察を進める。それと同時に、国内においてはデータベースを活用し、海外調査においては主要図書館や稀観本専門店を訪ねてチズウェル及びその他の17世紀書籍商(Henry Herringman, Humphrey Moseley, Richard Roystonら)によるブックリストを入手・分析する。それらを比較検証することにより、個々の書籍商が扱う書物の特徴を浮かび上がらせ、当時の社会・読者との関係を考察する。

(2) 予約出版制度を探る：

17世紀英国で予約出版によって世に送り出された書物を調査し、その内容と傾向を考察する。さらには、たびたび書物中にプリントされているサブスクライバーズリストを分析し、予約購読者層を丁寧に調査する。そうすることによって、著者・書籍商・読者の関係

の一端を解明する。

(3) 書物の受容と発展についての調査：  
書物が製造される歴史を探り、その受容と発展の経緯をたどるために、ベルギー・アントワープのプランタン・モレトゥス印刷博物館、英国ケンブリッジ大学ピープスライブラリー、英国ダラム大学カズンライブラリーなどを調査研究のため訪問する。

(4) 挿絵の効果についての研究：

17世紀は書物に版画を挿入する技術が進歩した時期でもあり、芸術的価値の高い書籍が多く出版された。この研究では Wenceslaus Hollar による版画に特に注目し、彼の版画が豊富に取り入れられたアンティークエリー(好古学者)のウィリアム・ダグデールの書物を検証の対象とする。

なお、以上の研究は豊かな専門知識を持つ海外研究協力者からのアドバイスを受けながら進める。

### 4. 研究成果

過去の研究において直面した課題に取り組み、研究を進展させるため、まずは予約出版による17世紀後半の出版物の具体的検討を行ない、成果の発表を行った。アンソニー・ウッドの *Athenae Oxonienses* に関しては、サブスクライバーズリストの分析によって初版が出版される際の状況を読み取る試みを行った。

書物の受容に関しては、王政復古期の日記作家であり蔵書家として知られる Samuel Pepys のライブラリーを英国ケンブリッジ大学に訪ね、実際に彼の蔵書を閲覧し、カタログの分析に着手した。海外研究協力者の紹介があり、ライブラリアンから個人的に情報を得ることもでき、この作業を通して王政復古期の書物収蔵、書物をめぐる文人同士あるいは書籍商との交流について考察を行った。

また、海外研究協力者より、ダラム大学カズンライブラリーを紹介された。17世紀英国の聖職者ジョン・カズン(John Cosin)のコレクションとしては大変貴重な例であるカズンライブラリーを訪ねてみた結果、今後の調査対象として書物の受容部分の研究を進展できる非常に貴重な蔵書であることを確信した。

英国の稀観本書店を直接訪ね、17世紀書物及び出版事情に詳しい書籍商から貴重な情報を得ることができた。稀観本を扱う専門家ならではの助言はこの上なく貴重なものであった。現地調査においてはこのように大いに成果を上げることができた。

パラテキストとしての版画の効果、書籍商 Richard Chiswell と彼を取り巻く著者や購読者層についての検討も継続して行い、論文を

発表してきた。挿絵については特に芸術的、歴史的価値を書物に賦与する効果があることをダグデールの書物を例に証明した。その経過の中で、書物史に関連する課題をさらに見出し、これまでの研究をさらに深め、充実させたいと考えるきっかけを得た。

本研究においては、山梨大学佐藤正幸教授の御協力の下、国際研究集会を2度開催することができた。海外から研究者を招聘し、2010年には王政復古期に人気を博した特殊な出版物であるブロードサイドおよびそれらを編んだ詩集で著名であった詩人ロバート・ワイルドについて扱った。あわせて、書籍商・詩人・読者の関係を考察し、積極的な意見交換を行うことができた。2012年には18世紀の小説家ローレンス・スターンの蔵書について、没後出版されたオークションカタログから分析し、18世紀における17世紀書物の受容の一側面を考察する研究会を行った。これによって、17世紀から18世紀にかけての書物の歴史を、18世紀の一個人の蔵書から辿ることができた。また、同時代の日本人書物蒐集家および日本における書物蒐集文化についての検討も行い、意見を交換することができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 高野美千代 (2013年3月)  
「17世紀好古学文献の変容と読者の受容」  
山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第8号、46～56頁 (査読あり)
- ② 高野美千代 (2012年3月)  
「Sir William Dugdale を取り巻くアンティークエリー理解者たち～The History of St. Paul's in London (1658) の出版に関して～」  
山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第7号、90～99頁 (査読あり)
- ③ 高野美千代 (2011年3月)  
“Richard Chiswell and his Publications in the Late 17th Century”  
山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第6号、74-84頁 (査読あり)
- ④ 高野美千代 (2010年3月)  
「書物史における Sir William Dugdale の The History of St. Paul's in London (1658)」  
山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第5号、63-72頁 (査読あり)

- ⑤ 高野美千代 (2010年3月)  
“Anthony Wood's *Athenae Oxonienses* and the Subscription Publication in Seventeenth-Century England”  
英米文化学会 『英米文化』第40号、77-88頁 (査読あり)

[学会発表] (計5件)

- ① 高野美千代 (2012年10月25日)  
「18世紀英国における17世紀書物の受容」  
科研費による国際研究集会「ローレンス・スターンと17世紀書物」、甲府市談露館
- ② 高野美千代 (2012年9月9日)  
「17世紀アンティークエリーの系譜における歴史観の変遷」  
英米文化学会第30回大会、山梨県立大学
- ③ 高野美千代 (2011年9月10日)  
「書物史の要素から考察する *The History of St. Paul's Cathedral in London* (1658) の同時代的意義」  
英米文化学会第29回大会、大東文化大学
- ④ 高野美千代 (2010年11月13日)  
「ロバート・ワイルドの *Iter boreale*」  
17世紀英文学会東京支部例会、大東文化大学
- ⑤ 高野美千代 (2010年11月11日)  
研究発表「著者と読者の間に～17世紀イギリス書物史一考察～」  
科研費による国際研究集会「書物史の要素から見る17世紀イギリスの出版物」、甲府市談露館

[図書] (計 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：

番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

高野 美千代 (TAKANO MICHIO)  
山梨県立大学・国際政策学部・准教授  
研究者番号：10289811

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：

### (他) 海外研究協力者

グレアム・パリー (GRAHAM PARRY)  
英国ヨーク大学名誉教授

ジョージ・サウスコム (GEORGE SOUTHCOMBE)  
英国オックスフォード大学講師

パトリック・ワイルドガスト (PATRICK  
WILDGUST)  
英国ローレンス・スターン博物館 (シャンデ  
イホール) キュレーター